

人生の「春」をいつまでも

小春日和

K O H A R U B I Y O R I

春風会 わかのうら

〒641-0025 和歌山市和歌浦中 1-1-15

本部事務局 TEL : 073-494-5656

グループホーム TEL : 073-488-5061

認知症対応型デイサービス TEL : 073-441-8667 / FAX : 073-444-3216

小規模多機能型居宅介護 TEL : 073-488-5063

訪問介護 TEL : 073-444-3170 / FAX : 073-444-3215



春風会 きし

〒640-8441 和歌山市栄谷 460-1

認知症対応型デイサービス TEL : 073-452-6800

グループホーム TEL : 073-488-4306 / FAX : 073-455-0015

居宅介護支援・ケアプラン TEL : 073-488-4316



春風会 かたおなみ

〒641-0021 和歌山市和歌浦東 4-3-51

居宅介護支援・ケアプラン

(角谷) TEL : 073-494-3907 / FAX : 073-444-3216

(馬上・大窪・尾崎・小原) TEL : 073-441-8665 / FAX : 073-441-8666

グループホーム TEL : 073-494-6266 / FAX : 073-441-8666



災害・緊急時に備える



日頃より「春風会」の運営にご協力いただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。

この数年、猛威を振るった新型コロナウイルスのパンデミックや、戦禍が伝えられるウクライナ情勢、今年に入って発生したトルコ・シリア大震災など、人類の営みを根こそぎ奪ってしまうような災害や出来事が後を絶たず発生しています。振り返れば春風会においても、12年前の「東日本大震災」発生の際には、津波に備えて「かたおなみグループホーム1階」の入居者様を2階に避難していただき一晩過ごしていただきました。記憶に新しいところでは、一昨年の紀ノ川以北地域の断水の際、きし事業所の各サービス利用者様には一部利用中止や入浴中止などのご不便をおかけしました。日頃の備品の準備や、行政の支援体制が整うまでの対応の大切さなど、痛感いたしました。

また新型コロナウイルスの対応では、感染拡大を予防するため家族様や関係の方々にはグループホームの面会を制限させていただくなどご不便をおかけしております。災害が起こるたびに、その都度消防署や保健所・市役所・包括支援センターなどの公共機関や行政機関、家族様や地域の方々、現場の介護スタッフなどと相談・ご協力いただきながら対応させていただいております。来年4月には、厚生労働省からの指示により在宅系・施設系問わずBCP(業務継続計画)の策定が義務化されます。BCPの目的は、自然災害や感染症など不測の事態が発生した場合でも、可能な限り業務を継続・早期復旧できるように備えることです。春風会では、これまで蓄積した経験やノウハウを活かし、具体的で有効な方策を整備することで、利用者様・入居者様の生活を継続的にお支えさせていただきたいと考えております。関係各所の皆様には、今後ともご指導・ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

春風会 統括委員会委員長 馬上和也

地域の風

和歌山での積雪 ～在宅支援の視点～

1/25(水)和歌山市内も珍しく雪が積もりました。予報でも積雪が予想されていたため、春風会の在宅サービスの訪問介護・認知症対応型デイサービス・小規模多機能型居宅介護においても前日から、ご利用者様への説明や、スタッフの勤務調整を行うことができました。当日は、予想通り雪がたくさん積もり、和歌浦・栄谷地区でも見事な雪化粧となりました。運営する立場としては、最善の判断が求められるため、必要な支援の方を除いては支援をストップさせて頂きました。ご本人・ご家族、担当ケアマネジャー様との相談で支援が必要だと判断された方は最善の安全策を提案させて頂いた上で提供致しました。そのお迎え時、近所を歩いておられた方から「こんな日も、ご苦労様。いつもおおきにやで」と声をかけてくださいました。改めて、地域の方々も春風会を見てくださっているんだと実感しました。地域のため、和歌山の高齢福祉のために取り組んでいきたいと考えています。

● 春風会わかのうら 在宅統括マネジャー 松本隆



げんきやでえ

新型コロナウイルス感染症～クラスターを乗り越え

年末年始、人の動きによる感染拡大も懸念しており、施設でも再度、感染予防の周知・徹底を行っておりました。和歌山市の感染者数が2,000人を超え、桁違いの数字を目の当たりにした時は、とても不安になりました。令和5年1月6日、初めてご入居者から“抗原検査陽性”反応が出てしまい、あっという間に他のご入居者や職員にも感染し、施設クラスターとなってしまいました。感染を最小限にとの思いで、清潔エリアや不潔エリアのゾーニング設定を行い、ゴーグル・防護服・マスク・手袋を装着、汚染物品の処理方法の統一、こまめな消毒など出来る限りの対応を行いながら、職員と共に一番はご入居者の快復と、平穏な日常を取り戻したいと言う一心で踏ん張りました。また、家族様の心温まる労いのお言葉にも励まされました。今、フロアから賑やかな笑い声や生活音が聞こえることが、心地良く感じ嬉しく思います。

● 春風会わかのうらグループホーム GH統括マネジャー 谷口糸央里



只今、全力疾走中

● 春風会きしグループホーム ユニット管理者 福本美嘉

皆様のご支援もあってきしグループホームは開設されて9年を迎えることができました。開設初期から入所されている方もいれば、この1年以内に入所された方もいらっしゃいます。

ご入居者が年齢を重ねていく中、少しずつ出来なくなる事が増えてきますが、日々の取り組みの中でひな祭りなどのイベントの日には、お食事を通して季節を感じて頂いたり、ご入居者と職員と一緒に洗濯物を干したりたたんだり、野菜作りから収穫へ…収穫した野菜をぬか漬け。ご入居者と職員と一緒に混ぜて美味しいお漬物を作ったりもします。きしグループホームでは少しでも安心して暮らしていただけるようにご家族・医師・看護師・調理師・介護職員が連携して、知恵を出し合いながらお一人お一人のご入居者に寄り添い支援させて頂いております。



共に育つ

● 株式会社ともにあゆむ 代表取締役 嵯山泰志

株式会社「ともにあゆむ」の代表・作業療法士の嵯山泰志と申します。デイサービス紀のいえやトナリカフェ、コンサルティング事業を運営しております。

現在、春風会さまのデイサービスにおける活動内容の検討や実践に取り組ませて頂いています。利用者さまの生活歴を確認し、どんな活動だといきいきされるかという視点を大切にしています。普段は自宅に帰りたいと言われるAさん。靴下はざれ手芸が好きで若い頃、座布団などを作っておられたそうで、「この部分をちょっと教えてくれませんか？」と手芸に誘うとすらすらして下さり、熱中している間は帰りたいと言われなくなりました。職員さんも「Aさん、手芸がこんなに上手だったんだ。」と、発見され、その手芸のやり方を私に聞いて覚えて下さり、私がいなくてもできるようになっていました。熱心な職員さんを拝見し、これからの春風会デイサービスの質はもっと向上されると確信しています。

春風会さまの社は「仁慈楽欲、自己の人間性を高め、人を思いやり、楽しく、やりがいのある人生を歩もう」は素晴らしいと考えています。会社、特に介護事業は「ひと」で成り立っており、今後も春風会さまと、ともにそだち、ともにあゆませて頂きたいです。